地上デジタルＴＶチューナ用リアフィルムアンテナ

# DTVF60

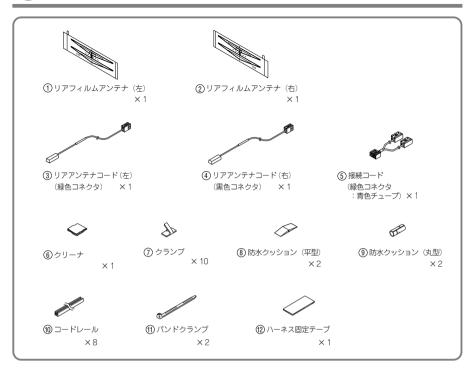
## 取付説明書

090003-3017A700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**販売店様へ**
**取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。**

# 構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

# 安全に正しくお使いいただくために

●この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

| | |
|---|---|
|  アドバイス | 本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと |

## ⚠警告

●本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

●本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

●本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

## ⚠注意

●本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

●本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

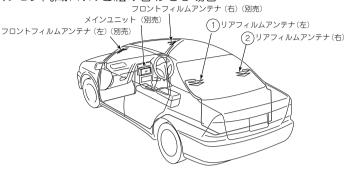
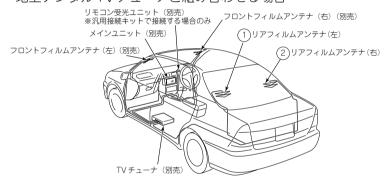
●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

●フィルムアンテナ及びケーブル・コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

# 取り付け概要図

## ーフルセグ内蔵AVNと組み合わせる場合ー

## ー地上デジタルTVチューナと組み合わせる場合ー

**アドバイス**

●別売のメインユニットおよびTVチューナに同梱されているフロントフィルムアンテナについては、必ず取り付けを行ってください。
●アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。
●リアウィンドウのデフォッガ線（熱線）の間隔が25mm以下の場合、リアフィルムアンテナは取り付けできません。
●リアウィンドウにラジオ等のガラスアンテナが装着されている場合は、ラジオ等の感度に影響を及ぼす場合があります。
●リアウィンドウが収納されたり開閉されたりする場合は、リアフィルムアンテナは取り付けできません。
●地上デジタルTVチューナと組み合わせる場合は、必ずメインユニット側でアンテナ設定の切り替えを行ってください（汎用接続キットで接続する場合は、不要です）。
設定を行わない場合、適切な受信感度を得ることができません。設定方法については取扱説明書を参照ください。

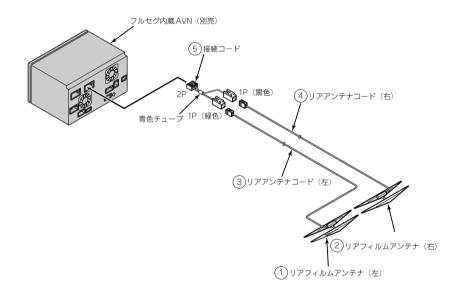
# システム接続例

**⚠警告**

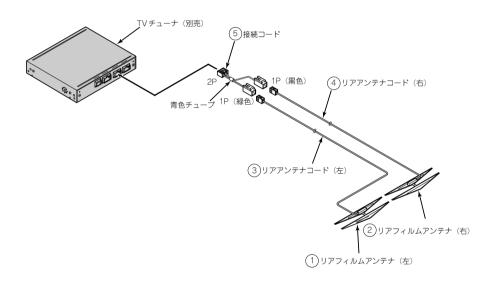
- ●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

**アドバイス**

- ●メインユニットに接続する前に各ユニットの取付説明書も参考に取付及び配線を行ってください。
- ●リアフィルムアンテナ部以外の接続は、メインユニットの取付説明書を参照してください。

## ーフルセグ内蔵AVNと組み合わせる場合ー

**アドバイス**

- 地上デジタルTVチューナ汎用接続キットとの組み合わせもリアフィルムアンテナ部は同様の接続となります。
  リアフィルムアンテナ部以外の接続は地上デジタルTVチューナ本体の取付説明書を参照してください。
- 必ずメインユニット側でアンテナ設定の切り替えを行ってください（汎用接続キットで接続する場合は、不要です）。
  設定を行わない場合、適切な受信感度を得ることができません。設定方法については取扱説明書を参照ください。

## ー地上デジタルTVチューナ汎用接続キットと組み合わせる場合ー

# リアフィルムアンテナの取り付け

## 取り付け上のご注意

**⚠警告**

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

●視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

**⚠注意**

●取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

●お車のリアガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

**アドバイス**

●フィルムアンテナは、一度貼り付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとフィルムアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。

●このフィルムアンテナは、リアガラス部への取り付けのみとなります。その他の場所への取り付けは行なわないでください。

●取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

●フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。

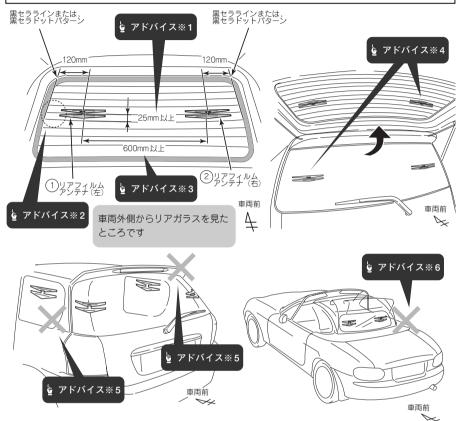
●フィルムアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。

●アンテナは断熱ガラスなどの特殊加工されたガラスや金属を含有するウィンドウフィルムに設置すると感度が極端に劣化するため取り付けできません。またお車のリアガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

●フィルムアンテナ貼付位置は、車両ボディ、ピラー等の金属部分にあまり近付けすぎますと性能が劣化する場合がありますので取付の注意事項に従った取付作業を行ってください。

●フィルムアンテナの貼り付けには、霧吹き等で水を吹き付けても貼り付けすることもできます。
その際は、水分が十分に蒸発するまでそのままお待ちください。

ーリアフィルムアンテナ取り付け位置ー

**以下の項目に注意して取付作業を行ってください。**

**アドバイス**

車両側ラジオアンテナ等からの影響回避およびデジタル TV アンテナの性能確保のため、リアフィルムアンテナはリアガラス内側の上下縦方向の中央付近へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

※ 1 ●リアガラスのデフォガ（熱線）の間隔が 25mm 以上あることを確認してください。
25mm 以下の場合、取り付けできません。

※ 2 ●黒セララインまたは黒セラドットパターンにリアフィルムアンテナのパターンが掛からないようにしてください。

※ 3 ●左右リアフィルムアンテナの給電部間が 600mm 以上あることを確認してください。

※ 4 ●ハッチバックの場合、リアフィルムアンテナの貼り付けの向きに注意してください。

※ 5 ●クォーターガラスへの取り付けは行わないでください。
●リアガラスの著しい曲面に貼り付けないでください。ピックアップ端子がはがれる場合があります。

※ 6 ●オープンカーなどリアウィンドウが収納されたり開閉出来る車両の場合、リアフィルムアンテナは取り付けないでください。

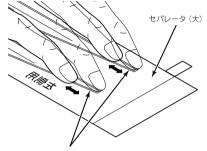
## ーリアフィルムアンテナの取付要領ー

**アドバイス**

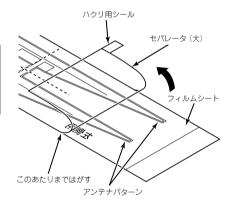
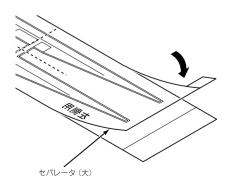
リアフィルムアンテナを取り付ける前にリアフィルムアンテナ貼付部のリアガラス面を付属のクリーナ（布）で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

**1** アンテナパターンがフィルムシートに残るように、セパレータ（大）の上から指でアンテナパターンの先端をこすりつける。

**アドバイス**

リアフィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。
右側も同様に作業を行ってください。

**2** アンテナパターンがフィルムシートから浮いていないか確認してください。

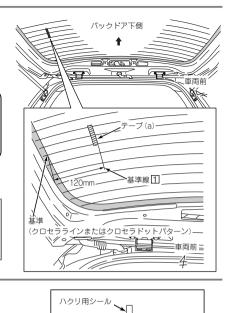
**アドバイス**

●必ず180°折り返すように、ハクリ用シールを利用してセパレータ（大）をはがしてください。
●浮きのある場合は、再度**1**の手順を繰り返してください。

**3** セパレータ（大）を元に戻す。

## ーハッチバックの場合ー

**4** リアガラス（室内側）にリアフィルムアンテナ取付用の基準線[1]をテープ等でマーキングする。
【テープ（a）】

**アドバイス**

●テープ等でマーキングする場合、テープ等の内側が基準位置になるようにしてください。
●テープはリアガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

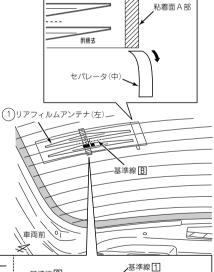
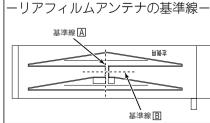
※黒セラライン
：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドットパターン
：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

**5** リアフィルムアンテナからセパレータ（中）をはがす。

**アドバイス**

粘着面Ａ部のセパレータ（中）のみ、はがしてください。

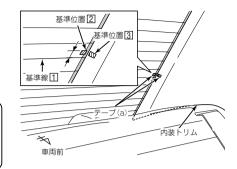
**6** テープ等でマーキングした基準線[1]とデフォガ線（基準線[2]）が交わる所（基準点[3]）にリアフィルムアンテナ（基準線[A]）の基準位置を合わせ、同時に基準線[2]と基準線[B]を合わせて粘着面Ａ部（セパレータ（中））をリアガラス（室内側）に貼り付ける。

**アドバイス**

粘着面Ａ部は、何度か貼り直すことができます。

## ーセダンタイプの場合ー

**7** 内装トリムを取り外す前に、リアアンテナコードと内装トリムの切り欠き位置を合わせるために、リアガラス（室内側）と内装トリムに基準位置[2]および基準位置[3]をテープ等でマーキングする。【テープ（a）】

**アドバイス**

- テープ等でマーキングする場合、テープ等の上部が基準位置になるようにしてください。
- テープはリアガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

**8** 内装トリムを取り外す。

**アドバイス**

- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
（作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。）

### ー内装トリムの取り外し（例）ー

**9** リアガラス（室内側）にリアフィルムアンテナ取付用の基準線[4]をテープ等でマーキングする。【テープ（a）】

**アドバイス**

- テープ等でマーキングする場合、テープ等の内側が基準位置になるようにしてください。
- テープはリアガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

※黒セラライン
：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドットパターン
：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

**10** リアフィルムアンテナからセパレータ（中）をはがす。

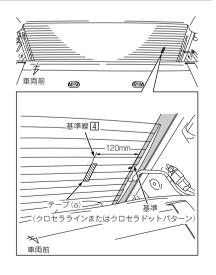
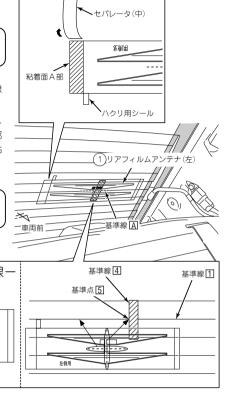
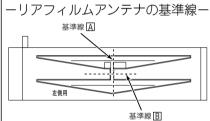
**アドバイス**

粘着面Ａ部のセパレータ（中）のみ、はがしてください。

**11** テープ等でマーキングした基準線④とデフォガ線（基準線①）が交わる所（基準点⑤）にリアフィルムアンテナ（基準線Ⓐ）の基準位置を合わせ、同時に基準線①と基準線Ⓑを合わせて粘着面Ａ部（セパレータ（中））をリアガラス（室内側）に貼り付ける。

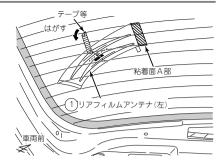
**アドバイス**

粘着面Ａ部は、何度か貼り直すことができます。

ー共通ー

■図はハッチバックタイプです。（セダンタイプも同様の作業を行ってください。）

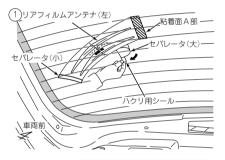
**12** マーキングしたテープ等をはがす。

**アドバイス**

必ずマーキングしたテープ等をはがしたことを確認してください。

図はハッチバックタイプです
フィルムアンテナの貼る向きにご注意ください

**13** ハクリ用シールを利用してリアフィルムアンテナからセパレータ（大）をはがし、リアフィルムアンテナをリアガラス（室内側）に貼り付ける。

**アドバイス**

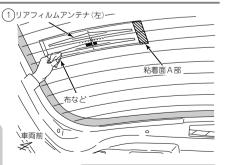
- 粘着面Ａ部を手で押さえながらセパレータ（大）をはがす。
- セパレータ（小）は、はがさないでください。
- アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ（大）をゆっくりはがしてください。
- 必ず180°折り返すように、ハクリ用シールを利用してセパレータ（大）をはがしてください。
- フィルムアンテナの貼り付けに水を使用しても問題ありません。

図はハッチバックタイプです
フィルムアンテナの貼る向きにご注意ください

**14** リアフィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

**アドバイス**

- シワや傷がつかないように注意して、フィルムシートの上からアンテナパターン部を布などで数回程度こすってください。

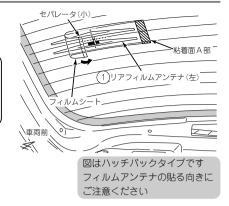
**⚠注意**

アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。
リアフィルムアンテナの傷や破損の原因になります。

図はハッチバックタイプです
フィルムアンテナの貼る向きにご注意ください

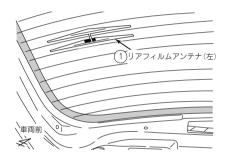
**15** セパレータ（小）を持って 180°折り返すように フィルムシートをはがす。

**アドバイス**

リアフィルムアンテナがフィルムシートと一緒にはがれてしまわないように、必ず180°折り返すようにフィルムシートをゆっくりとはがしてください。

図はハッチバックタイプです
フィルムアンテナの貼る向きにご注意ください

**16** リアフィルムアンテナの貼り付けを確認する。

**アドバイス**

貼り付け後すぐには、完全に気泡が抜けませんが、数日〜数週間経てば気泡は無くなります。

図はハッチバックタイプです
フィルムアンテナの貼る向きにご注意ください

## ーリアフィルムアンテナ配線概要（例）ー

**リアフィルムアンテナコードの配線概要です。**

### ーハッチバックの場合ー

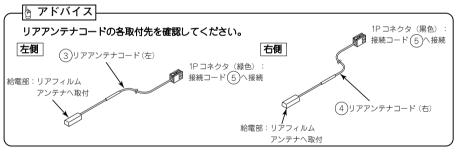
④リアアンテナコード（右）
③リアアンテナコード（左）
②リアフィルムアンテナ（右）
①リアフィルムアンテナ（左）

### ーセダンタイプの場合ー

①リアフィルムアンテナ（左）
②リアフィルムアンテナ（右）
④リアアンテナコード（右）
③リアアンテナコード（左）

## ーリアアンテナコードの配線要領ー

**アドバイス**

**リアアンテナコードの各取付先を確認してください。**

### ーハッチバックの場合ー

**1** リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせリアアンテナコードの長さを調整する。

**アドバイス**

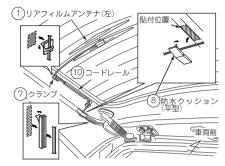
ここでは、給電部をリアフィルムアンテナに貼り付けないでください。

**2** リアアンテナコードをコードレール、ハーネス固定テープおよびクランプで固定しながら配線する。

**3** 防水クッション（平型）をウェザーストリップに当たるように調整して貼り付ける。

**アドバイス**

- ●車両に防水クッション（平型）を貼り付ける際、リアアンテナコードの間隔が、100mm以上になるように防水クッション（平型）を貼り付けてください。
- ●リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。

**4** リアアンテナコードをコードレールおよびクランプで固定しながら配線する。

## ー縦開きの場合ー

## ー横開きの場合ー

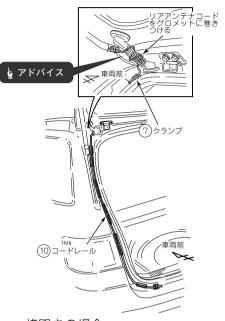
②リアフィルムアンテナ（右）
①リアフィルムアンテナ（左）
⑦クランプ
⑩コードレール
④リアアンテナコード（右）
⑫ハーネス固定テープ
③リアンテナコード（左）
車両前

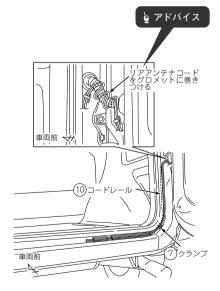
アドバイス

車両前
100mm
⑩コードレール
⑦クランプ
貼付位置
⑧防水クッション（平型）

**5** リアアンテナコードをコードレールおよびクランプで固定しながら配線する。

**アドバイス**

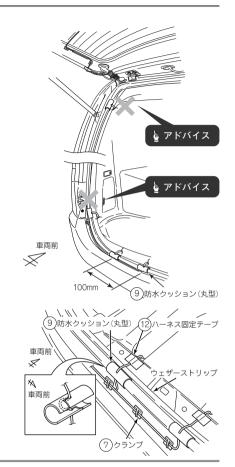
- ●リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。
- ●リアアンテナコードは余裕を持たせて、グロメットに巻きつけてください。巻きつけ後、グロメットのボディ挿入部が変形していないことを確認してください。グロメットが変形すると、水入りの原因となります。

ー縦開きの場合ー

ー横開きの場合ー

**6** リアアンテナコードを防水クッション（丸型）のスリット部に挿入する。

**7** 防水クッション（丸型）をウェザーストリップに巻き付けるように取り付ける。

**8** リアアンテナコードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながらTVチューナまで配線する。

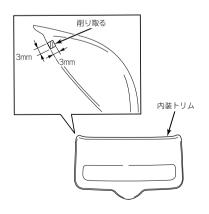
**アドバイス**

- ●リアアンテナコードは、バンパー付近まで配線し、車室内に引き込んでください。車両横からの引き込みは、雨水等が侵入する原因となるため、リアアンテナコードの引き回しには、十分注意してください。
- ●車両に防水クッション（丸型）を貼り付ける際、リアアンテナコードの間隔が、100mm以上になるように防水クッション（丸型）を貼り付けてください。
- ●リアアンテナコードが、車両の可動部などにかみ込まないように配線してください。かみ込むと断線等の原因になります。

## ー内装トリムの加工ー

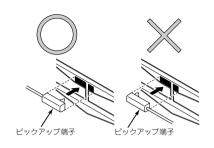
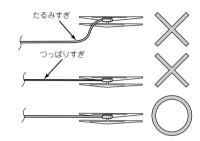
**9** 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、リアアンテナコードと干渉するところを確認してください。

**10** 内装トリムのリアアンテナコードと干渉するところを削りとってください。

**アドバイス**

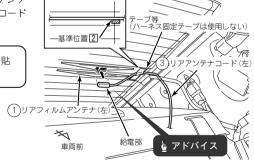
- ●内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- ●車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- ●図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

**11** リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

**アドバイス**

- 給電部はリアフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- リアアンテナコード給電部はリアフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。

## ーセダンタイプの場合ー

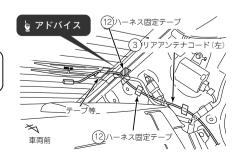
**12** リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせリアアンテナコードの長さを調整する。

**アドバイス**

ここでは、給電部をリアフィルムアンテナに貼り付けないでください。

**13** リアアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

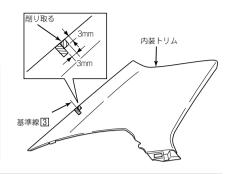
**アドバイス**

車両エッジ部分にハーネス固定テープを貼ってください。

**14** リアアンテナコードをバンドクランプおよびハーネス固定テープで固定しながらTVチューナまで配線する。

## ー内装トリムの加工ー

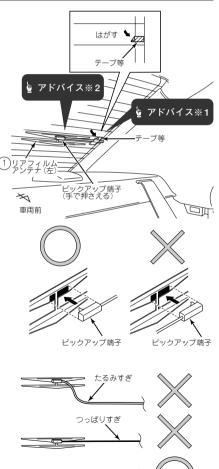
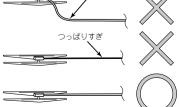
**15** 内装トリムのリアアンテナコードと干渉するところを削りとってください。

**アドバイス**

- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

**16** 内装トリムを取り付けて、リアアンテナコード給電部をリアフィルムアンテナの車両内側の端子ベースに貼り付ける。

**アドバイス**

※1
- 位置ぎめのテープ等をはがしてください。

※2
- 給電部はリアフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- リアアンテナコード給電部はリアフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。



090003-3017A700
0711（CN）